



平成22年 年頭のごあいさつ

与論町長 南 政吾

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健康かな平成22年の、新年を迎えられましたことと、お慶び申し上げます。

さて、わたくしも町長に就任して、11年目となる、新春を迎える事ができました。改めて初心を忘れることなく、町民の皆様との信頼関係を大切にして、「人と自然が輝くオンリーワンの島づくり」に、全力で取り組んで参る所存であります。

昨年は、本町にとりまして、将来への大きな期待と希望をつなぐ、幾つかの出来事がありました。

その中から何点かを申し上げますと、まず、第1に、全島を網羅する超高速通信が可能な、光ファイバ網が整備されたことあります。

これは、全国の離島では初めてという画期的なことあります。これを機に、さらなる住民サービスの充実と新たなソフト産業の

誘致や育成に力をそそぎ、雇用の拡大につなげていきたいと考えております。

第2に、地上デジタルテレビ放送が開始され、より高品質でクリアーな映像と音声を受信することができるようになりました。

第3に、ヨロン特産品支援センターが供用を開始いたしました。家庭ではできない、加工機器等を使用し、与論の農産物などを加工することで商品価値を生み出し、島の特産品として売り出していただけるよう皆様方のご利用をお願いしているところであります。

第4に、日本では46年ぶりという皆既日食が観測され、各地で観察会が行われました。本町に於いても、95パーセントが欠けて見える部分日食が観察でき、幼児からお年寄りまで、空を見上げ、改めて自然の神秘に感動をした次第であります。

第5に、日本経済は、百年に一度と言われる危機的状況から

抜け出すことが出来ない状況にあり、その影響は、本町にも、じわりじわりと、浸透してきております。

そのため本年も、大変厳しい財政事情の中ではありますが、各種事業をより効果的に実施し、島の振興発展を図って参りたいと考えております。

このような時こそ、わたくしたち与論町民が、団結し、知恵と汗を出し、時代の荒波に飲み込まれないよう、足腰の強い、しっかりとした島づくりを、行っていくかなければならないと、あらためて自覚するところであります。

最後に、今後とも本町町政に対し、一層のご理解とご協力・ご支援を賜り、未来に希望の持てる島づくりが出来ますようお願い申し上げますとともに、町民各位のご多幸とご健勝を、心よりお祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。